

南 監 査 号
令和 5 年 1 1 月 9 日

南 幌 町 長 大 崎 貞 二 様
南幌町議会議長 側 瀬 敏 彦 様
株式会社 南幌振興公社
代表取締役 大 崎 貞 二 様

南幌町監査委員 白 倉 敏 美
南幌町監査委員 加 藤 真 悟

令和 5 年度南幌町財政的援助団体等監査報告書

地方自治法（昭和 2 2 年法律第 6 7 号）第 1 9 9 条第 7 項の規定により実施した財政的援助団体等の監査結果に関する報告を同条第 9 項の規定により、次のとおり提出します。

記

1. 監査実施団体

株式会社 南幌振興公社

2. 監査実施期日

令和 5 年 1 0 月 1 6 日（1 日間）

3. 財政的援助等内容

イ. 株 式 3 0, 5 0 0 千円（出資比率 3 1. 4 %）

ロ. 損失補償 元金 1 8 1, 6 6 0 千円及び利息の合計額を限度

4. 監査の目的と着眼点

財政的援助団体である株式会社南幌振興公社の令和 4 年度決算報告書、貸借対照表、損益計算書、契約書類等の重要書類を閲覧し、南幌町監査基準に基づき経営概況について書類監査と聞き取りを主に実施した。

また、令和 5 年 9 月末現在の経営成績、運営状況、集客状況の推移など、事業実績を基本に南幌リバーサイドゴルフ場の経営概況と収支見込についての聞き取りを主に確認を行うとともに財務諸表の検証を行っている。

5. 監査の場所

株式会社 南幌振興公社会議室

6. 監査の内容

① 令和4年度事業実績

営業日数は226日と前年度より1日多く、入場客数は前年度を1,573人、3.9%上回った。コース売上高も前年度に比べ8,165千円、5.9%増加した。

【令和4年度コース売上高及び入場者数】

年 度 項 目		令和4年度	令和3年度	前 年 度 対 比	
				増 減	増減率
営 業 日 数		226 日	225 日	1 日	0.4%
西・南	売 上 高	127,499 千円	119,253 千円	8,246 千円	6.9%
	入 場 者 数	35,141 人	33,489 人	1,652 人	4.9%
	客 単 価	3,628 円	3,561 円	67 円	1.9%
北	売 上 高	18,794 千円	18,875 千円	△81 千円	△0.4%
	入 場 者 数	6,814 人	6,893 人	△79 人	△1.1%
	客 単 価	2,758 円	2,738 円	20 円	0.7%
合 計	売 上 高	146,293 千円	138,128 千円	8,165 千円	5.9%
	入 場 者 数	41,955 人	40,382 人	1,573 人	3.9%
	客 単 価	3,487 円	3,421 円	66 円	1.9%

※ 売上高に消費税及びゴルフ場利用税を含まない。

※ 入場者数に北コースの15歳未満の無料入場者を含む。(令和4年度：116名、3年度：124名)

② 令和4年度損益

練習場を含めた総売上高は161,368千円と予算比24,946千円、達成率118.3%、前年比7,751千円、5.0%増加した。

練習場売上高は14,701千円と前年比△464千円、3.1%減少した。

売上原価は118,560千円と、前年比8,027千円、7.3%増加した。売上高構成比は73.5%と前年度の72.0%を1.5%上回り、売上総利益は42,808千円と前年比△276千円、0.6%減少した。

販売費及び一般管理費では、保険料で共済保険料の減額もあり1,017千円と前年比1,600千円減少するなど販売管理費全体では24,471千円と前年比△1,212千円、4.7%減少したが、営業利益では18,337千円と前年比936千円、5.4%増加した。

以上の結果、売上原価が売上高に占める割合の減少を主たる要因として、経常利益(税引前当期純利益)は17,785千円と前年比573千円、3.3%増加となった。

【比較損益計算書】

(単位：千円)

科 目	令和4年度					令和3年度		増 減	
	予算額	売上比	決算額	売上比	達成率	金 額	売上比	増 減	増減率
売 上 高	136,422	100.0%	161,368	100.0%	118.3%	153,617	100.0%	7,751	5.0%
売 上 原 価	107,945	79.1%	118,560	73.5%	109.8%	110,533	72.0%	8,027	7.3%
仕 入 高	150	0.1%	271	0.2%	180.7%	289	0.2%	△18	△6.2%
労 務 費	59,847	43.9%	57,759	35.8%	96.5%	56,560	36.8%	1,199	2.1%
消 耗 品 費	3,442	2.5%	7,569	4.7%	219.9%	7,786	5.1%	△217	△2.8%
修 繕 費	7,400	5.4%	14,177	8.8%	191.6%	10,779	7.0%	3,398	31.5%
種 子 農 薬 費	9,200	6.7%	7,905	4.9%	85.9%	7,601	4.9%	304	4.0%
広 告 宣 伝 費	2,065	1.5%	2,670	1.7%	129.3%	2,127	1.4%	543	25.5%
減 価 償 却 費	6,800	5.0%	8,735	5.4%	128.5%	7,431	4.8%	1,304	17.5%
そ の 他 費 用	19,041	14.0%	19,474	12.1%	102.3%	17,960	11.7%	1,514	8.4%
売 上 総 利 益	28,477	20.9%	42,808	26.5%	150.3%	43,084	28.0%	△276	△0.6%
販 売 ・ 管 理 費	21,797	16.0%	24,471	15.2%	112.3%	25,683	16.7%	△1,212	△4.7%
人 件 費	13,178	9.7%	13,425	8.3%	101.9%	13,892	9.0%	△467	△3.4%
広 告 宣 伝 費	6,726	4.9%	8,209	5.1%	122.0%	7,371	4.8%	838	11.4%
保 険 料	217	0.2%	1,017	0.6%	468.7%	2,617	1.7%	△1,600	△61.1%
そ の 他 費 用	1,676	1.2%	1,820	1.1%	108.6%	1,803	1.2%	17	0.9%
営 業 利 益	6,680	4.9%	18,337	11.4%	274.5%	17,401	11.3%	936	5.4%
営 業 外 利 益	724	0.5%	1,161	0.7%	160.4%	1,316	0.9%	△155	△11.8%
営 業 外 費 用	1,556	1.1%	1,713	1.1%	110.1%	1,505	1.0%	208	13.8%
経 常 利 益	5,848	4.3%	17,785	11.0%	304.1%	17,212	11.2%	573	3.3%

(注) ※ 売上原価の労務費に高齢者事業団からの人員派遣委託費を含む。

③ 令和4年度末財務の状況について

令和4年度末の財務規模は745,092千円と前年比763千円、0.1%増加した。

1. 資産の部

流動資産は現金・預金が3,590千円増加し、固定資産では有形固定資産と投資その他資産が3,385千円減少した。

【資産の部】

(単位：千円)

年 度 科 目		令和4年度末		令和3年度末		増 減	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
流動資産	現 金 ・ 預 金	45,850	6.2%	42,260	5.7%	3,590	8.5%
	そ の 他	1,790	0.2%	1,232	0.1%	558	45.3%
	流動資産計	47,640	6.4%	43,492	5.8%	4,148	9.5%
固定資産	有 形 固 定 資 産	90,692	12.1%	94,775	12.7%	△4,083	△4.3%
	無 形 固 定 資 産	17,697	2.3%	17,697	2.4%	0	0.0%
	コ ー ス 勘 定	574,110	77.2%	574,110	77.2%	0	0.0%
	投資その他資産	14,953	2.0%	14,255	1.9%	698	4.9%
	固定資産計	697,452	93.6%	700,837	94.2%	△3,385	△0.5%
資産合計		745,092	100.0%	744,329	100.0%	763	0.1%

2. 負債・純資産の部

負債及び純資産は、流動負債で法人税等充当金が前年比 1,969 千円減少した。

固定負債では、長期借入金 6,500 千円を償還し、また、固定資産の取得に伴う長期未払金も前年比 2,059 千円減少した。

純資産では、税引後の当期純利益 8,708 千円が増加した。

【負債・純資産の部】

(単位：千円)

科 目			令和4年度末		令和3年度末		増 減			
			金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率		
負債の部	流動負債	法人税等充当金		2,462	0.3%	4,431	0.6%	△1,969	△44.4%	
		未払消費税		2,276	0.3%	3,219	0.4%	△943	△29.3%	
		その他流動負債		2,380	0.3%	2,925	0.4%	△545	△18.6%	
		流動負債計		7,118	1.0%	10,575	1.4%	△3,457	△32.7%	
	固定負債	長期借入金		123,160	16.5%	129,660	17.4%	△6,500	△5.0%	
		長期未払金		3,947	0.5%	6,006	0.8%	△2,059	△34.3%	
		その他固定負債		4,071	0.5%	0	0.0%	4,071	皆増	
		固定負債計		131,178	17.6%	135,666	18.2%	△4,488	△3.3%	
	負債合計		138,296	18.6%	146,241	19.6%	△7,945	△5.4%		
	純資産の部	株主資本	利益剰余金	資本金		97,100	13.0%	97,100	13.0%	0
利益準備金				24,275	3.3%	24,275	3.3%	0	0.0%	
別途積立金				348,000	46.7%	348,000	46.8%	0	0.0%	
繰越利益剰余金				137,421	18.4%	128,713	17.3%	8,708	6.8%	
小計				509,696	68.4%	500,988	67.4%	8,708	1.7%	
純資産合計		606,796	81.4%	598,088	80.4%	8,708	1.5%			
負債・純資産合計		745,092	100.0%	744,329	100.0%	763	0.1%			

④ 令和5年9月末実績と経営概況について

令和5年9月末の営業実績は、練習場は4月1日、西南コースは4月6日、北コース4月13日に営業を開始し、4月の入場者数は3,968人と天候不順で降雨日が多く、前年比△387人、8.9%減少したが、5月の入場者数は6,598人と前年比375人、6.0%の増加となった。

6月も順調に推移したが、7月、8月は日中33度を超える日が続くなど、猛暑によるキャンセルが相次いだが、9月末累計では34,962人と当月末計画の32,000人に対し達成率109.3%、前年同期比80人、0.2%の増加となっている。

入場者数に占めるWeb予約の割合が9月末現在で17,747人、50.8%と前年度通期の45.3%を大きく上回り集客効果を挙げている。

練習場の売上は、9月末現在で12,307千円と前年同期の12,068千円を若干上回った。

西・南コースの営業日数は、173日と前年174日に比べ1日多く、北コースは119日と前年同期の123日に比べ4日少なくなっている。

9月末のコース売上高は122,770千円と前年同期の119,942千円を2,829千円、2.4%上回っている。入場者数も34,962人と前年同期の34,882人を若干上回る結果となっている。

【令和5年9月末コース売上高及び入場者数】

項 目		単位	令和5年9月末			前 年 同 期	前年同期対比	
			計 画	実 績	達成率		増 減	増減率
西・南	売 上 高	千円	95,253	107,867	113.2%	104,228	3,639	3.5%
	入 場 者 数	人	27,100	29,578	109.1%	29,179	399	1.4%
	客 単 価	円	3,514	3,647	103.8%	3,572	75	2.1%
北	売 上 高	千円	13,230	14,904	112.7%	15,714	△810	△5.2%
	入 場 者 数	人	4,900	5,384	109.9%	5,703	△319	△5.6%
	客 単 価	円	2,700	2,768	102.5%	2,755	13	0.5%
合 計	売 上 高	千円	108,483	122,770	113.2%	119,942	2,828	2.4%
	入 場 者 数	人	32,000	34,962	109.3%	34,882	80	0.2%
	客 単 価	円	3,390	3,512	103.6%	3,439	73	2.1%

※ 売上高に消費税、ゴルフ場利用税は含まない。

※ 北コースの15歳未満の無料入場者を含む。（令和5年度：91名、令和4年度：101名）

7. 監査のまとめ

令和4年度は令和3年度に比べ、コロナ禍による行動制限が緩和されたこともあり、売上高が前年比7,751千円、5.0%と増加した。

令和5年度は集客面で定着してきたWeb予約が全体の50.8%と前年より大幅な増加となった。今期は1組のバック率を上げるため、Web予約に4バック限定割引プランや1人予約割引プランの人気の高まりがあったことや、女性客入場者数も9月末時点で14.6%となっており年々増加傾向にあることが、前年を上回る実績につながっていると思われる。また、自社ホームページの予約サイトをリニューアルし、Web予約による送客手数料の圧縮に取り組むなど、経費削減の努力も伺えた。

コース状況については、4月から5月は気温の低い日が多く少雨も重なり、干ばつが長引き、芝生の生育の遅れが続いた。6月上旬は適度な降雨があったが、中旬以降は再び干ばつ傾向となった。7月、8月は連日真夏日・猛暑日が続き、コースコンディションの良くない状況が続いたが、9月に入り降雨日が増え、干ばつが解消され芝生も回復傾向に転じ、良好な状態で営業できたことも確認した。

練習場においても7月8月に猛暑日が27日間もあったことで多少売上げに影響を受けたが、売上げ目標の13,000千円を達成できる見通しとなっている。

6月1日早朝には、南コース3番でクマの目撃情報があり、2日間のクローズもあったが、本年度9月末実績に見る売上額はコース、練習場、売店で135,406千円と前年同期比2.3%の増加と好調を維持している。

引き続き、Web予約等を活用した一層の集客方法の拡大を図ることで、効率化・経営健全化についての取り組みを進め、財政規律の強化に努めることが重要である。

また、今後の人材確保がますます重要となってくることから、急速に変化する労働法制に対応した就業規則等の整備により人材確保に努められたい。